

アクションプラン

平成 27 年度

大阪市立
大淀中学校

大淀中学校 学校教育改善「アクションプラン」は、「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等の各種調査及び本校の「学校評価アンケート(保護者)(生徒)」における調査結果の分析を踏まえ、本校が教育活動充実に向け取り組むプランです。

信頼される学校づくり

<< 「わかる」「できる」を大切にした授業 >>

学び方の指導 自学自習の習慣化 授業改善

- ・観点別評価の判断基準を示し、信頼ある学習評価活動をととして次からの学びにつなげる。
- ・家庭学習課題（予習・復習課題）を工夫する。
- ・指導方法・指導内容の改善 教育指導課題（ICT を活用した授業）に対応した授業研究を進める。
- ・「わからない」「わかりにくい」ことへの対応として、日常からの関わりに加えて、テスト 1 週間前、長期休業中等における教科質問日や学習の機会を設ける。

<< 自信をつけ、自己有用感を高めていく教育活動 >>

- ・学校行事をはじめとする様々な教育活動をととして、自らの役割をやり遂げたという体験の蓄積を大切に自主活動を推進する。
- ・生徒自らが考えたことや意見を発表できる機会や場を設定し、認められたと実感できる教育活動を推進する。

<< 教育相談の機能を生かした教育活動 >>

- ・「先生に話しやすい、聞いてくれる、考えてくれる。」に対応した教育活動に努める。
- ・いじめ・不登校・問題行動等に係る「ケース会議」の機能を生かした教育活動を推進する。

<< 学校教育支援ボランティアとの連携・協力による「響育」>>

- ・教科の枠にとらわれない多様な学習「学びT A I」を、学年別に土曜授業に位置づけ実施する。
キャリア教育と関連させた魅力ある講座を、地域ボランティアとともに進める。
- ・図書館活動支援・読み聞かせボランティアの協力により、言語教育の向上を図る。
図書の開館日数を増加、蔵書数の向上、書架・机等の図書館環境の整備を進める。

<< 家庭・地域の教育力と連携した「響育」>>

- ・生徒会活動の「あいさつ運動」や「奉仕活動」等の教育活動を家庭や地域に啓発し、連携した取り組みを進める。
- ・健康に関わり生活習慣と食育の指導、体力・運動能力に関わり運動習慣と柔軟性の向上について、保護者と共に考え、取り組みを進める。
- ・地域の関係諸機関や家庭・地域と連携した「防災教育」を推進する。（「地震・火災」等発生時における避難訓練を含め、土曜授業において家庭・地域と連携した取り組みを進める。）
- ・災害等の発生時における、中学生が果たす役割について考える教育機会を設定する。